

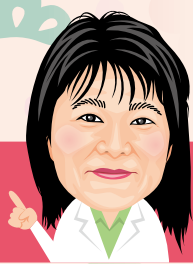
ご自由にお持ち帰り下さい



愛はすべてを完全に結ぶ帯です。…1

- 若松苑『訪問リハビリテーション』開始します! ……2
- お花の魅力 ……3
- こころのサプリメント…どのような状況でも ……4
- Medical Healthy Recipe…お正月のあまったお餅で作るデザート…4
- 発酵食でトキメク心と体 ……5
- リモート面会の取り組み ……6
- 「北中城若松病院療養者の権利」について ……6





愛はすべてを完全に結ぶ帯です。

アガペ会理事長 涌波 淳子

新年あけましておめでとうございます。2022年を神様のお守りうちに、皆さまとともに迎えられたことを心から感謝いたします。

沖縄県の新型コロナの第5波は、日本ワーストを更新し続けるほど厳しい状況にありました。アガペ会では、早くから対策本部を設置し、職員教育、環境整備、ワクチン接種、面会制限等の感染対策をおこなってきましたが、デルタ株の感染力の強さは想定外で、若松苑で19名のクラスター、5病棟では3名の陽性者発生となってしまいました。県内のコロナ病棟が満床で施設内療養となりましたが、県コロナ本部、保健所、専門医師や看護師等の皆さんの温かいサポートにより何とか乗り越える事ができました。お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、ご心配をおかけした関係者の皆様に心からのお詫びと、その中でも職員に対し励ましの言葉をかけてくださったご家族、物心両面で支えてくださった法人内外の皆様には、心からの感謝を申し上げたいと思います。

さて、2022年アガペ会の御言葉は、「愛はすべてを完全に結ぶ帯です」という聖書の言葉を選びました。この言葉は2012年、東日本大震災の翌年にも選んだ事があります。あれから10年、今回の新型コロナウイルス感染症は、まさに「災害」であり、また、「三密を避ける」「マスクをつける」等、人と人との温かいふれあいを抑止せざるを得ない状況となっています。「大切に想っている」が故に「会いたいののに会えない」「触れたいのに触れられない」という切実なる想いは、スマホ操作に慣れない中高年も、日々の感染対策に緊張感で一杯な職員をも動かし、様々な壁を乗り越え、オンライン面会やカンファレンス、窓越し面会を作り上げ、終末期の方々の自宅への退院などにつながりました。また地域の中での「命を守りたい」という使命感は、関係者のネットワークによって共有化され、多くの命を守ってきました。「相手を大切に思う心=愛」は、様々な知恵や工夫、そして努力によって大きな壁をも乗り越えていく強さを持っていると思います。

新型コロナウイルスは「人と人とを引き離し」ますが、愛は、「人と人とを結ぶ帯」として働きます。まだまだ、油断のできない状況ではありますが、この新しい年もまた、「愛」の力で、皆様とともに、療養者とご家族の幸せ、職員と家族の幸せ、地域社会の幸せのために頑張っていきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

『訪問リハビリテーション』 開始します！



介護老人保健施設 若松苑
リハビリ課 課長

宮里 朝康 (理学療法士)

～新規事業所開設のお知らせと所信表明～

介護老人保健施設若松苑は、病院と在宅の中間を支える施設として、在宅復帰に向け利用者やご家族が望む生活の場をイメージして、多職種協働で医療やケアに取り組み、多くの方を在宅に繋いできました。

しかしながら、在宅復帰を進める中で、退所された方々が、不安無く幸せに在宅生活を送ることが出来ているかについては多少の不安もありました。退所前に担当者会議やビデオや写真入りの資料を提供しいろいろと伝える機会は設けていますが、退所後一ヶ月程度

で機能低下をきたし再入所の相談を受けることもあり、現状での情報提供だけでは対応する事が出来ない限界も感じていました。

そこで、若松苑の馴染みのリハビリ職員が、『訪問リハビリ』としてご自宅や退所先の施設に伺い、退所後早期より具体的な個別訓練を行うことができれば、若松苑から在宅へ生活の場が変更しても安心してリハビリを継続し、生活機能を維持・向上するサポートが続けられると考えました。

具体的な訪問リハビリの内容は

- ① 日常生活全般の動作と介護状況の確認、機能訓練、自主訓練の指導
- ② 福祉用具・介護用品選択、環境整備（住宅改修）のアドバイス
- ③ 摂食・嚥下の助言指導、発声・発語訓練、意思疎通の取り方など
- ④ 役割や生きがい作り、社会参加支援、介護者支援
- ⑤ 食事等栄養摂取環境、薬の内服や清潔衛生状況の確認
- ⑥ 入所時の心身の状態からの小さな変化を早期に発見し、主治医・関係機関と連携を取り、疾病予防や重度化防止
- ⑦ ご本人・ご家族の表情や言葉から在宅生活での心身の負担を把握し、軽減に向けて対応
- ⑧ 災害時避難を想定した対応をご家族・関係機関と協力し準備



このような取り組みによって、退所後も長く住み慣れた場所で幸せな在宅生活を続ける事ができるのではないかと考えています。また、若松苑ではデイサービス・ショートステイ機能も有りますので、合わせてご利用いただけることで、ご本人の体調管理は勿論、ご家族全体を総合的に支援することが出来ると考えています。

若松苑は、“アガペ会に関わった方々は最後まで支える”を合い言葉に、医師を始めとする医療と福祉の専門職集団であることを強みとして、地域の在宅生活を支える中核としての役割が果たせるよう職員一同一丸となって取り組みます。

『意志ある所に道は開ける』*2022年1月開設 (予定)

お花の魅力

認知症対応型通所介護 デイサービス若松ぎのわん

副主任 仲村 盛

2020年6月宜野湾市「お花でココロを華やかそう」事業を通して、コロナ禍で活動自粛や制限の中、デイサービスに綺麗な「お花」が届き、女性の利用者を中心にとでも嬉しく、やさしい気持ちに慣れた事を今でも強く印象に残っています。

宜野湾市のこの事業をきっかけにデイサービスでも何か出来ないかと職員間で話し合いを重ね、以前活動したことのある「生け花」を提案し、利用者の声を反映させながら、スケジュール調整し準備や計画を立て、月に1回取り組みを開始しました。

地域近隣のフラワーショップでお花を安価で購入し、オリジナリティを含めた創作的活動をすることで、お花の持つ視覚的要素や嗅覚への刺激などにより、利用者の反応や表情が良くなりました。日々会話の中に「お花」の話題が多くなりデイサービスに明るい雰囲気や話題が増えてきたのです。再度また職員間で話し合い、「生け花」活動から利用者に「役割を展開したい」という事になり、「最初に私たちが感じた嬉しい気持ちを同じ地域の方に少しおすそ分けできないか？」と利用者と相談し、承諾を得て、地域の保育所2か所、食堂、公民館へ活けたお花を飾って頂く取り組みスタートしました。

活動で出来上がった生け花を利用者数名と職員で各提供先へ直接伺い届けに行きました。食堂ではお客さん、保育所では先生方や子供たちとその保護者、公民館では地域住民から「デイサービス利用者が活けたお花きれいだね、上手だね」と話題になったようです。

最初は活動にあまり反応を示さなかった男性利用者も今では女性利用者と競って、お花を選び取り合い、我先にと手を動かしお花と対面で向き合うようになりました。活動のきっかけとなりました宜野湾市事業の取り組みに感謝し、活動を通して利用者の役割や地域との関わりを今後も継続していきたいと考えています。



どのような状況でも

チャプレン室 田中 歩美

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について感謝しなさい。」

2021年アガペ会ではこの標語を掲げ、コロナ禍も力を合わせて進んできました。この標語は聖書の言葉からきており、イエス・キリストの弟子パウロが書きました。彼は大変な苦労を経験した人です。

かつての仲間からは命を狙われ、牢屋に入れられたり、鞭打たれたり、深い傷を負わされ、生死の境をさまよったこともあります。食事もなく、寒さで眠れず、船が難破して幾日も海の上を漂ったこともありました。

このような状況にありながら、パウロはいつも喜び、祈り、感謝をしていたのです。

パウロがそのようにできたのは、神様の愛、イエス・キリストの愛を日々感じていたからです。かつてはおごり高ぶり、怒りを持っていた自分だったのに、神様が赦してくださったこと、そして神様の大きな愛が変わらずに注がれ、自分を守り、生かしてくださっていることを受け止めていました。

パウロに限らず、神様は皆様に対しても、変わらない愛を日々注いでくださっています。神様もイエス様も、大きな深い愛で、皆様を守り、生かしてくださっています。



チャプレン室
「こころのサプリメント」

Medical
Healthy
Recipe

お正月のあまったお餅で作るデザート

北中城若松病院 栄養課
安里 衣千乃 (管理栄養士)

あけましておめでとうございます。今年は寅年ですね。寅年生まれの方は前向きでチャレンジ精神が強くどんなことにも強い信念を持って挑んでいく傾向があるそうです。皆さんも今年はいろんなことに挑戦してみたいはいかがでしょう？

話は変わりますが、お正月で余ったお餅をととてもおいしいデザートに変身させるレシピをご紹介します。レンジでチンして混ぜるだけと、とても簡単なのでぜひ作ってみてください。ただ詰まらせないように注意して、召し上がってくださいね。



- お餅 …… 2個
- くるみ …… 5g
- ココアパウダー …… 小さじ1 + 適量
- 砂糖 …… 小さじ5
- 塩 …… ひとつまみ
- バター …… 3g

簡単、濃厚チョコくるみ餅

【作り方】

- ① 餅を水で濡らして耐熱容器に入れ、600wのレンジで餅がやわらかくなるまで1分30秒～2分加熱します。
- ② やわらかくなった餅にくるみを手で粗く砕いて加え、ココアパウダー、砂糖、塩、バターを加えゴムべらで練るように混ぜます。
- ③ ココアパウダーを広げたバットを用意します。
②を4等分に丸めて、バットの中でココアパウダーを全体にまぶせば完成です。

発酵食でトキメク心と体

第5病棟(特殊疾患病棟) 比嘉(准看護師)

新型コロナウイルスの発生で、今までの暮らし方を整えたい自分に気づきました。私の場合は体づくりです。新しい生活様式を取り入れていく中で、40代になり基礎代謝が低下している事を、ひしひしと痛感しています。そんな時、発酵食を手作りする機会に巡り会い、現在進行形で取り入れています。初心者なのでまずは料理の調味料となる塩糀・醤油糀づくりを学びました。



講師の経験談や根拠を教わり、自身の思考に落とし込みます。そして、糀菌がたくましく育つよう、環境づくりをしていきます。すくすく成長＝発酵できるよう糀と向き合いながら、優しく丁寧に糀の素を混ぜ合わせます。糀菌が呼吸＝発酵を止めないよう、優しくかき混ぜ新鮮な空気に触れさせます。この丁寧に関わる行動は、まるで小さな子供と戯れる感覚です。そんな可愛い子供＝糀菌は2～4週間で完成(成人式)を迎え、社会(私達の食卓)へ旅立ちます。

ステイホーム生活の中で、コツコツと糀と向き合い関わる時間。そんな時間にトキメキをおぼえる自分自身の変化が楽しくてたまりません。ステイホームが余儀なくされる生活だからこそ、発酵食を取り入れながら、心身との会話を続けていきたいと思います。



発酵途中の塩糀と醤油糀



寿司酢でつくる自家製ガリ



醤油糀で作った生姜焼き

【塩糀の作り方】 保存期間は常温で6ヶ月です

材料：生糀 200g、天然塩 60g (材料の約13%分、ミネラルウォーター 200ml
※乾燥糀の場合170g、天然塩60g、ミネラルウォーター 230ml

- ①スクリュタイプガラス容器(※プラスチック容器でも可能)に指定量の糀を入れ、少しずつミネラルウォーターを足して糀を浸していきます。
- ②清潔なスプーンで空気に触れさせるように、ゆっくり混ぜていきます。
- ③1日おきに、空気に触れさせるように清潔なスプーンでかき混ぜます。2週間で完成します。

リモート面会の取り組み

病院医療福祉相談課 東恩納 盛幸

～大切な家族の絆を保つために～

2020年4月頃より、新型コロナウイルスの感染が拡大し、それに伴い当院も患者様の命を守るために「家族面会と外出・外泊が制限」になりました。長期間におよぶ患者様とご家族の絆を保つ為のひとつの機会が遮断された事により活気低下につながっている患者様もいます。

まだ、ご家族が病棟に入り患者様と直接触れたりする事は実現出来ませんが、家族の『絆』を保つ為に少しでも役立つよう「リモート面会」を実施しています。LINEのアプリを利用して毎週月・木の午後に10分程度の面会を行っています。画面越しに、寝たきりでお話しが出来ない患者様に、家族は『おじいちゃん（おばあちゃん）元気～！〇〇だよ～。』と声かけし、患者様は孫やひ孫達に、『は～い！元気だよ～！みんな元気かね～』と手を振り応える。お互いの元気を確かめあいながら、安心した様子で少しの時間を共有します。

LINEアプリの活用は、患者様のリハビリに頑張る姿や笑顔で過ごしている日頃の様子を動画にしてご家族へ送る事もあります。これまでに、多くの家族が利用しています。今後も利用日の拡大や利用方法など更に利用しやすくなるように取り組んでいきます。ご希望のご家族は、相談員や病棟へ申し込んで下さい。



**新型コロナウイルス感染対策の為、面会制限を行っております。
県内の感染状況により面会方法は異なるため、詳細はホームページでご確認下さい。**

「北中城若松病院療養者の権利」について

- ①個人の人格を尊重した医療やケアが受けられます。
個人の人格、価値観などが尊重され、医療従事者との信頼と協力関係のもとで医療やケアを受けることができます。また、終末期ケアを受ける際もできる限り個人の尊厳が保たれ、あらゆる可能な助力を受けることができます。
 - ②必要な医療やケアを平等に受けられます。
社会的身分・人権・宗教などの差異、または障がいの有無に関わらず、必要な医療やケアを平等に受けることができます。
 - ③十分な情報を得ることができます。
ご自分が受けている医療やケアについて、理解できるまで説明を求めることができます。またご自分の診療録の開示を求めることができます。
 - ④自己決定が尊重されます。
十分な説明と情報提供を受けた上で、自由な意思にもとづいた治療方法の選択、決定が尊重されます。また自己決定の際に、主治医以外の意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
 - ⑤個人の情報は守られます。
診療に関する個人の情報は守られます。ご本人の承諾なくして、直接関わる医療従事者以外の第三者に対し開示されることはありません。
ただし法的義務のある場合や生命の危機に瀕する場合は、その限りではありません。
- ※なお療養者ご本人が、明確な意思表示をできない場合でお困りの際は、医療福祉相談課または病棟課長に遠慮なくご相談ください。



アガペ会理念

アガペ(神の愛)に生かされ、アガペ(神の愛)に生きる

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい(聖書 ヨハネ福音書13章34節)

《理念の意味》アガペとは「神様の愛」というギリシャ語です。私たち職員は、神様と周囲の多くの方々に愛されて生きてきた事を感じ、神様が愛されている目の前の療養者・利用者とそのご家族の皆さんの幸せ、職員とその家族の幸せ、地域社会の方々の幸せを目指して医療とケアを提供していきます。

北中城若松病院

〒901-2395 沖縄県北中城村字大城 311
☎/098-935-2277 FAX/098-935-2272

- 一般病棟 ・ 回復期リハビリ病棟
- 認知症治療病棟 ・ 特殊疾患病棟
- 認知症デイケア あしやぎ
- 認知症疾患医療センター ☎/098-975-6122

介護老人保健施設 若松苑

〒901-2314 沖縄県北中城村字大城 327
☎/098-935-5858 FAX/098-935-5807

- 入所療養介護
- 短期入所療養介護
- 若松苑デイサービス

地域医療包括ケアセンター

複合型高齢者施設 ふれあいの里 若松

〒901-2311 沖縄県北中城村字喜舎場 360-1

3F サービス付高齢者住宅 アガペファミリー ☎/098-935-4165

2F グループホームわかまつ ☎/098-935-1021

1F ファミリークリニックきたなかぐすく
☎/098-935-5517 FAX/098-982-0708

B1F 通所リハビリテーションきたなかぐすく ☎/098-982-0717

..... 訪問看護ステーション若松 ☎/098-935-5818

..... 訪問リハビリテーションきたなかぐすく ☎/098-923-3154

..... ヘルパーステーション若松 ☎/098-935-5202

..... ケアプランステーション ゆい
☎/098-935-3066 ・ 098-935-5968

..... 地域医療包括ケアセンター事務所 ☎/098-935-3093
クリニック以外の事業所の FAX は 098-935-5855 (共通)

看護小規模多機能ホーム若松 きたなかぐすく

〒901-2316 沖縄県北中城村字安谷屋 1346 番地 1 (1F)
☎/098-982-0181 FAX/098-982-0183

グループホーム若松 ぎのわん
デイサービス若松 ぎのわん

〒901-2201 沖縄県宜野湾市新成 1-20-6
☎/098-892-5104 (グループホーム) FAX/098-892-5111
☎/098-892-5105 (デイサービス) (両施設共有)

小規模多機能ホーム若松ぎのわん

〒901-2206 沖縄県宜野湾市愛知 2-3-2
☎/098-892-1673 FAX/098-943-1085

宜野湾市地域包括支援センター ふてんま
新オレンジサポート室

〒901-2202 沖縄県宜野湾市普天間 1-9-3
☎/098-943-4165 FAX/098-943-4067 (ふてんま)
☎/098-943-4085 FAX/098-943-4702 (新オレンジサポート室)

宜野湾市赤道老人福祉センター

〒901-2205 沖縄県宜野湾市赤道 1-5-17 ☎/098-893-6400

宜野湾市伊利原老人福祉センター

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐 4-3-17 ☎/098-890-7131

<https://www.agape-wakamatsu.or.jp>

※今号で使用している写真はご本人の同意を得て掲載しております

